

東京都倫理法人会広報誌グッドモーニング

GOOD MORNING

倫理17000認定企業の経営者に聞いた「経営力」とは？

p.02



(株)わかばケアセンター
代表取締役
北爪初江

足立区西倫理法人会幹事

p.03



(株)ゼネック
代表取締役社長
求 由美

江戸川区倫理法人会相談役

p.04



(株)リベント
代表取締役
三上力央

中央区倫理法人会幹事

p.05



武蔵自動車(株)
代表取締役
遠藤 力

東京都倫理法人会副会長

p.06



(株)ダスキン木村
代表取締役
下原直子

後継者倫理塾塾長

※倫理17000とは「倫理経営」を実践して自社の倫理観の涵養を図り、「倫理法人会憲章」の理念を実現しようとする企業であることを証する認定制度です。詳しくは倫理研究所のホームページをご覧ください。
令和6年度に東京都倫理法人会の中で認定された4社の経営者の方々と、お父様の代に倫理17000に認定され、後継者倫理塾長を務める(株)ダスキン木村の下原直子氏にお話をお伺いしました。

楽しくなければ わかばじゃない

(株)わかばケアセンター 代表取締役 北爪初江

足立区西倫理法人会幹事



北爪初江足立区西倫理法人会幹事（以下、北爪幹事）が経営する（株）わかばケアセンターは、「楽しくなければわかばじゃない」という思いのもと、お客様にも、社員にも「よりそう」気持ちを大切にする会社です。どのような取り組みをされているのかを伺ってきました。

一経営者として心がけていることは？

「人を大切にする事」です。介護事業を始めた頃は離職者が多く苦労しました。だからこそ、社員の働きやすい環境作りをしようと思った。

そして社員のお誕生日には手紙を添え、プレゼントとケーキ、tomatomaのお弁当とサラダを届けています。

また、皆がやりたいということをやってもらっているんですよ。

社内でのサークル活動は、ヨガ・健康促進部・子供のいる家庭クッキングサークル・園芸部・ウクレレクラブなどたくさんあります。社員のためにワークライフバランスの取組みや、健康経営優良企業の認定を受けたり、パソコンと携帯を一人一台配布して、テレワークのしやすい環境も整えてきました。私自身が子どもを育てながら会社を経営してきたので、子供のいる社員の働き方も応援しています。

一経営理念は？

会社で一番大切にしている事、経営理念は「よりそう・おもてなし」です。

自分を大切に、家族を大切に、仲間を大切に身体や心の健康を保ち、元気に明るく笑顔で仕事をしてほしい。よりそう心、おもてなしの心でお客様の笑顔と自立を応援したい。

そして、介護と日本の未来を作っていきたい。そんな想いを込めました。

一倫理法人会の学びで活かされたことはありますか？

もともと主婦だったところから、事業を立ち上げました。倫理法人会に入会したのも、何か学ばなければという気持ちからです。朝礼を取り入れたのは大きな出来事でした。

以前は連絡ミスが多かったりしましたが、朝礼をすることにより一体感が生まれました。職場の教養を活用して毎朝朝礼を行い、最後に体操も取り入れて平穏な心で業務を開始できています。

朝礼コンテストでは2回優勝をしているんですよ。それが倫理法人会に入会して、今までで一番楽しいことでした。三女は塾生の朝礼を観て後継者倫理塾に入ったんです。

一社内教育の状況は？

自分がすべて動いてしまうと、次の人が育たない。人の失敗を責めることなく、成長できるよう、次に活かせるようにと接しています。また管理者研修、新人研修などを行い、業務上の資格取得も応援しています。

一会長であるご主人からは何か助言はありますか？

普段は我慢してくれているのでしょうね。ただ、ここぞというときには後押ししてくれます。介護事業を始めたときもそうでした。介護業界では夫の勧めにより、いち早くICT化を実現することができました。それにより残業の減少と仕事の効率化が図れました。私も社員も出来ないと思っていましたが、やってみると案外でき、しかも効率が良く、報告がすぐに上がってくるようになりました。

一今後、やりたいことは何でしょうか？

事業所を増やしていきたいです。頼もしい後継者が現れて、事業継承も進めています。長女は経理、二女はケアマネジャー、三女は tomatoma という系列のレストランを運営したあと、現在は福祉用具部門の所長をしています。また三女は、私たちが朝礼コンテストに出場したときに後継者倫理塾の朝礼を見て「私もあになりたい！」と塾で学ぶことを希望しました。

一インタビューを終えて

主婦から会社を立ち上げ24年、倫理法人会に入会して20年。今や450人の従業員を抱え、営業所も15か所。社員が働きやすい環境を作られて、心と人を大切にする経営をされています。これからの高齢社会を見据えた新しい試みもしながら、お客様にも社員にも寄り添った経営を続けていらっしゃいます。夫婦愛和が基本にあり、楽しく経営をされていて、経営者の心が従業員さんの心に反映し、お客様に届いている。まるで講話を聞いているような、感動的な体験でした。



家族の絆を超えて 受け継がれていく想い

(株)ゼネック 代表取締役社長 求 由美

江戸川区倫理法人会相談役



ご主人が社長である(株)ゼネックのパート社員だった求由美江戸川区倫理法人会相談役(以下、求相談役)。2017年に、ご主人から会社の経営を任されることになりました。経営については全くわからず、途方に暮れていた時に、「江戸川区に経営者が学ぶ会があるよ。」と勧められ、江戸川区倫理法人会へ入会。その後、倫理の学びを活かして自身を成長させると共に、会社を発展させてきました。そんな求相談役に、経営について大切にしていることをお伺いしました。

一純粹倫理を学び、どのように変化していききましたか？

社長就任当初は、社員や夫との間で問題を抱えていました。

倫理を学び、2つのことに気がつきました。

利益を出す前に、まず社員に向き合うことが大切だということ。

「人は鏡」人は人、自分は自分という考え方がそもそも、違うのだ！目の前に居る社員は自分そのものなんだ！ということ。

そして、「あ～、私はなんて我儘だったんだ。」と悟りました。そこから、社員の言葉をよく聞くという「傾聴」の実践を始めました。

まず私から社員に話しかけて、社員から出てくる話を聞き続けました。そのうちに、家族での悩み、子供のことなど、



なんでも相談し合える環境に変化してきました。

一社員の方々には、どのようなことを伝えていきますか？

ゼネックはまだまだ零細企業ですし、「キツイ、汚い、危険」と言われる清掃業です。ですが、私はそんな人気のない仕事が本当は世の中にとても必要な仕事であると感じています。そのため、誇りと使命感を持って働けるよう意識を変えていくことを心がけています。そこで、毎日欠かさず朝礼を行い、経営理念の唱和・社員心得ルール・職業の教養輪読・感想・体操、これらを15分ほどかけて、全員で行っています。

そして、先代から受け継がれている「経営計画書」を社員全員に渡して、毎年8月1日には経営計画発表会をしています。

一その経営計画書は、創業当時から作られていたのでしょうか？

経営計画書は、先代社長の夫が業績が落ちていた時期に作成しました。計

画書を受け継ぎ、経営者として経験を積むほど、先代がどれほどの信念と命をかけて作成したのかと感ずるようになりました。

私とは13歳、年齢が離れている夫は、社長を退いてから、一切経営に対して口出しをしませんでした。その厳しい姿勢は、本当に私を信頼してくれていたからこそなんだと、後継者倫理塾で学ぶ中で気がつきました。

一今後のゼネックについての計画はどう考えていますか

「お父さんの会社って凄いね！こんな事をやっているんだ！お父さん、頑張っているね！！」というような会話が、社員の家庭の中で出てくる会社にしていきたいです。

そして社員とその家族、顧客を家族のように大切にし、「大家族主義」の会社にしていきたい。

これが私の想いです。ゼネックは今年41年目。創業社長、夫、私へと受け継がれてきた想いを大切にしていきます。そのために足元から焦らず、日々コツコツと凡事徹底をしていきます。



朝礼のススめ

(株)リベント 代表取締役 三上力央
中央区倫理法人会幹事



詳しい内容については、朝礼甲子園開催に向けて改めて取り上げていきます。

活力朝礼甲子園2023で「朝礼・オブ・ザ・イヤー」に輝いた(株)リベント。代表取締役である三上力央中央区倫理法人会幹事(以下、三上幹事)は、業績が悪化して1.8億円の債務超過を抱えていた中、学生時代の先輩であった築地玉寿司の中野里陽平氏から倫理法人会を勧められ入会。活力朝礼を導入したことで、会社の業績がV字回復しました。

朝礼委員会の有志と実際の朝礼の見学にお伺いしました。三上幹事が朝礼を導入した頃は社員の反発もありました。そこで、まずリーダーを決め、プロジェクトを立ち上げました。リーダーを中心に試

行錯誤を重ねながら、自分たちに合う形にしていきました。朝礼はたった15分ですが、単なる情報伝達の間であるだけでなく、コミュニケーションの間です。また、サービス業として必要な礼儀や作法を磨くことができます。」と語られました。

普段行われている朝礼を見た朝礼委員からの感想は、「じんわりと活力が湧いてくるような感じがした」「朝礼中の電話対応の際も、うちわを使って状況を共有しながら落ち着いて対応して素晴らしかった」「この朝礼なら導入しやすそう」などといったものでした。



※活力朝礼甲子園2023の様子と(株)リベントの三上力央幹事がご出演しV字回復のエピソードを語られた東京都公式Youtube配信番組はこちら
GOOD MORNING2023年8月号→



おもてなしの心が結ぶ 強い絆

武蔵自動車(株) 代表取締役 遠藤 力

東京都倫理法人会副会長



2000年に倫理法人会に入会された遠藤力東京都倫理法人会副会長（以下、遠藤副会長）。

武蔵自動車(株)をお父様から引き継ぎ、公私にわたり様々な試練を乗り越え、今年度、見事、倫理17000企業に認定されるという輝かしい功績を刻みました。ここに至るまでにあった3つの苦難の話をお伺いしました。

私は元々、人気TVドラマ”金八先生”のような教師に憧れていました。

しかし、両親が懸命に働き会社を営んでいる姿を見て、教師ではなくこの会社を継ぐことを決意しました。大手メーカーの自動車会社で、メカニックからフロントまでの業務を4年間経験した後、家業の営業職として勤務することになりました。

当時は、仕事に没頭し過ぎるあまり、朝6時から夜中0時になるまで働く日々。当然、家庭を顧みる時間もありませんでした。結果、身重の妻が里帰りしてから出産後、我が家に帰って来ることはありませんでした。これが私の最初の苦難でした。

途方に暮れた私は、倫理法人会の「万人幸福の葉」第5条「夫婦愛和」を読み、自分の至らなさに気づきました。その後、妻に素直に詫げる事が出来て、何とか関係を修復することが出来ました。

2つ目の苦難は事業承継でした。当時、常務だった伯父、そして総務を担っていた伯母へ退職し世代交代をしてほしいことが言えずにいたのです。「倫理指導」を受けて、指揮を取るよう助言されました。

そこで、父母を交えて叔父夫婦と話し合いの場を持ちました。私の経営者としての考え、方向性を素直に話すと伯父夫婦は心良く承諾してくれました。今でも伯父夫婦とは、良好な関係が続いております。

また、この新旧交代の頃は、遠藤家の立て直しをしなければならない時期でもあり、忙しい日々でした。モーニングセミナーへも参加出来ず、2年間休眠状態となりました。親しい倫理法人会のメンバーが次期会長になることが決まった際、私を専任幹事にという話があり、会に復帰しました。

専任幹事の後、ひの多摩倫理法人会の会長職を引き受けました。その年に、私達の会をモデル単会にしたいという話があり、半年間で74社から100社を目指すことになったのです。これが3つ目の苦難でした。幸いにも、旧三役の方々も交えてミーティングを重ねたり、相談役の方々の多大なる協力もあり、目標を達成することが出来ました。その後、4か月連続で東京都倫理法人会の普及・最優秀単会(MVP)に選ばれました。

目標達成のために、様々なことにチャレンジし、入会した会員の方々へ楽しんでもらえるよう誕生会を開催した経験は、今でも生きております。今振り返ると事業を継いだ当初は、トップダウンの経営をしていたように思います。倫理法人会で学ぶうちに、トップダウン経営ではなく、社員を大切に「おもてなしすること」が大事なんだと感じるようになりました。最近では、研修と称して、顧客であるお蕎麦屋さんやお風呂屋さんへ行き、社員と会食する機会を積極的に作り、経営の礎としております。わが社では、活力朝礼を倫理に出会っ

た頃から導入しました。最初は社員の抵抗もありました。

しかし、今では、来店したお客様対応により途中で朝礼が中断されても、社員から率先して「社長、続きをしましょう」と言ってくれるまでになりました。「継続は力なり」です。朝礼では会社の「社是」や加盟しているフランチャイズの「経営方針」を業務毎に唱和しています。「創業者の精神や事業の目的」を忘れず、日々、全社員一同で精進しております。

父がこの活力朝礼に参加した際に、「完璧だ」と誉めてくれました。人生の中で父が私を褒めてくれたことは2つだけです。ちなみに2つ目は、「良い奥さんを貰ったな」ということでした。どちらも本当に嬉しい出来事でした。今でも、父のことは尊敬しております。

倫理は私のバイブルであり、家庭や会社を立て直す道しるべになりました。

倫理の教えは、気に止めれば、誰でもすぐに行動を起こせる気づきが沢山あると思います。私が取り組んでいる毎日の実践は、会社のトイレ清掃を素手で行う「心磨き」です。

こうした日常の小さなことを続けることが、今回の倫理17000認定を頂くことにつながったと考えております。今回の認定は本当にありがたく、皆様に感謝しております。これからも社員一同、そして多くの方々へ喜んでいただける「おもてなし」に日々取り組んで参ります。

父から受け継いだ倫理を 次の世代へ

(株)ダスキン木村 代表取締役 下原直子

後継者倫理塾塾長



後継者倫理塾第18期塾長を務め、自身も4代目として創業者のお父様から続く後継者としてのバトンを受け取った株式会社ダスキン木村の代表取締役である下原直子後継者倫理塾塾長（以下、下原塾長）にインタビューをさせていただきました。

一創業者の想いと会社の歩み

株式会社ダスキン木村は喜村「喜びの村づくり」の経営理念を掲げ、倫理17000の認定開始から第2期の平成18年に認定されました。その背景には以前からの会社に倫理経営を取り入れていたことがありました。

同社の倫理との出会いは創業者の父が家庭倫理の会で純粋倫理を学んだことでした。

人に喜ばれる仕事をしたいとダスキンのフランチャイズ事業をスタートし、ダスキン木村は令和6年2月に55周年を迎えます。

倫理法人会がスタートする前の昭和52年から19年間は社員全員で富士高原研修所(富士研)に参加。参加する前は嫌がっていた社員が研修を終えて帰ってくると口を揃えて参加して良かったと言ってくれます。最初は社員10人くらいで参

加し、会社がどんどん大きくなってからも全員で参加していました。

その後、社員全員で参加をすることが難しくなりましたが、今の会社の基礎が出来ました。社員全員で富士研に参加できたことが大きかったと思います。以後は会社で栗の勉強会等を行っています。

父はダスキン木村はみんなの会社だと言って、他の加盟店は上場しましたが、上場しませんでした。

父が堅実に着実に会社を運営してくれたお陰で売り上げは日本一ではないが、利益率、自己資本率は高く、4代目として経営を任されても資金に関しては全く心配する必要がありませんでした。そして、みんなの会社ということで社員による持ち株会を作り、株主には毎年配当が出せる会社になっております。

一下原塾長が語る創業者の父への想い

父は80歳前から「俺は90で死ぬ」と言っていたのですが、2020年の東京オリンピックの開催が決まると「オリンピックが見たいから91で死ぬ」に変わりました。コロナウイルスの影響で開催が1年延期されましたが、オリンピックの終了を見届け安心したかのように2021年8月25日に安らかに眠るように旅立っていきました。会社を成長させ、家族もひ孫をふくめ30人以上そして死ぬ日まで決める父の偉大さを感じずにはいられないです。

コロナ禍ではありましたが、その2ヶ月後の10月25日父の93歳のお誕生日にお別れの会を催すことを企画しました。

生前父と親交があった方に来ていただいて、お花だけでも献花してもらえたらいいなと思っていたのですが、ちょうど

その日から一時的に規制が緩和されて、お蔭様でたくさんの方にお越しいただき明るく和やかに父とお別れをしていただくことができました。

一塾長を引き受けた理由

倫理にお返しできることはなんだろうと考えたときに後継者倫理塾塾長のお話を頂きこれだと思い喜んでお受けしました。あとは、会社が三つありそれぞれの後継者もまだはっきり決まっていなく、弟の息子である甥にも入塾してもらいたいとも思っていました。しかし、彼は薬剤師になったので、これまで会社には入っていなかったのですが、やはりいずれはという思いもありました。すると今年の春から会社に入ることになって、塾にも進んで入塾してくれました。

よく世間では2代目、3代目が会社をつぶすと言われます。創業者が頑張って会社を大きくしたけれど、次世代に繋がっていかない会社をたくさん見てきたので、是非とも後継者倫理塾に入ってもらいたいと思っていました。

入塾した塾生を見て感じることは、皆様が抱える課題の表面は違っていても本質は変わらないということ。やはり、まずは縦のつながり親子関係です。そして夫婦関係です。

仕事のやり方、方法は昔と変わりますが、在り方や土台の部分は変わらないです。これから時代の変化があったとしても、後継者へ塾の伝え方は変わるかもしれませんが栗を中心とする内容は変わりません。



後継者倫理塾第17期修了式開催

2023年7月23日(日)、昭島のフォレスト・イン昭和館で後継者倫理塾17期生の修了式が行われました。

当日は修了証の授与、チームに分かれての菓研究が寸劇方式や歌などを交えて発表され、会場は大いに盛り上がりました。参加者からは時に笑いや涙のある、感動の式となりました。



17期の修了式で整列する塾生

会場のフォレスト・イン昭和館には東京都の役員や塾生の所属単会の方々だけでなく、ご家族も足を運ばれました。



10か月の厳しいカリキュラムを修了し、緊張しながらもどこか誇らしげな17期のみなさん



第18期入塾式開催

2023年10月19日(土)、タワーホール船堀にて、18期生の入塾式が華々しく行われました。

今年度は13名が入塾し、那須隆首都圏方面長の記念講演、小林良子会長の挨拶などで、スタートをお祝いしていただきました。これから塾生たちがどのような変化や成長を遂げるのか、今から楽しみです。

初講義の前に資料をチェックする18期生、これからどんなことが起きるのでしょうか。



18期の入塾式で記念講演を聞く入塾生は、期待と不安で緊張しているようでした。



東京都倫理法人会の皆様へ

安心のサービスをご提供いたします。

葬祭業安心度調査AAAの東京葬祭が
明瞭なお見積りと豊富な経験・実績でお応えします。

葬祭業安心度調査
AAA
全葬連
全葬連安心度調査AAA連続取得

ご葬儀は安心して任せられる
東京葬祭

もしもの時は、セレモニーコールセンターへ。

0120-88-6111 年中無休 24時間受付

お問合せの際は「倫理法人会会員」とお伝えください。

倫理法人会ご優待内容

- ・葬儀基本セット **30%OFF**
- ・供花(御葬家分) **10%OFF**
- ・仏壇、仏具、墓石 **各種割引**

フラワーデザイナーとつくる
世界でたったひとつの

**花葬儀**

はなそうぎ 検索

東京・神奈川・千葉・埼玉
約800式場で対応しています

通話無料 24時間365日対応

0120-181-087

株式会社LIVENT
[活礼甲子園2023] オブザイヤー最優秀賞受賞!

YouTube 動画配信

日経新聞、TBSテレビ、テレビ朝日など多数のメディアで紹介された葬儀社

どこでも出張バーベキュー!



手ぶらで
解散!

3,850円 (税別)

食料のみの配達・大型案件も対応しております。

ご予約は **03-5879-4503** 東京都江戸川区中央 2-31-10-103
BBQ太郎 東京江戸川店

[営業時間] AM10:00~PM21:00 年中無休

満員御礼 講演会好評でした



感謝を込めて公開!
聞くだけで
経営の神様が
降りてくる
伝説の音声(フル)を
プレゼント

スマートフォン
のカメラでQRコードを
読み取ってください

佐藤康行

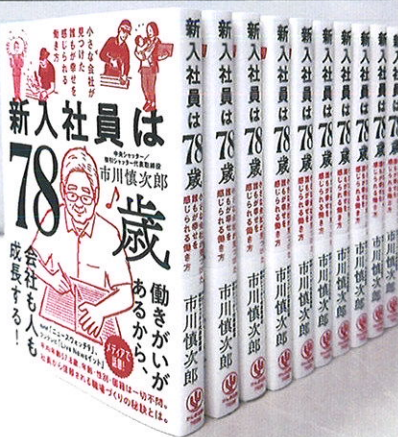
「今に生きる」
今がチャンスだ。今が最善。
今の中に過去のすべてが入っている。
今の中に未来のすべてが入っている。
今を変えれば過去のすべてが変わる。
今を変えれば未来のすべてが変わる。
今を変えれば周りのすべてが変わる。
今に生きたら生命が活動する。
今に生きたら魂が躍る。
今こそチャンスだ。
今こそ縁がある。
自己を変えるチャンスは今しかない。
今、今、今の中にすべてがある。
今、決意せよ。今、行動せよ。
今、すぐ変われ。
人生とは今のことというのだ。
過去のこと、未来のこと、悩むな。
過去はここにもないのだ。
未来のこと、心配するな。
未来はここにもないのだ。
今、今の中に過去も未来もあるのだ。
今に感謝せよ。今を愛せよ。
すべてが完全なのだ。
今とは宇宙のことというのだ。
今に感謝。ありがとう。

お問い合わせ&お申込みは、☎電話、WEBのいずれかにて

YSコンサルタント株式会社 TEL 070-8450-9462 事務局直通(平日6時~18時) メール info@ys-consultant.com まで

中央シャッター代表取締役 市川慎次郎の新刊

人生100年時代。
働き方の意識も時代とともに変わります。
超高齢時代の先端を行く中央シャッター。
かんき出版からオファーがあり、
この度、新刊出版が実現しました。
お手に取っていただけますと幸いです。



絶賛発売中
全国の大手書店、
Amazonからも購入できます。



(株)中央シャッター
(株)中央デント



公式 LINE



公式 Facebook



公式 YouTube



公式 Instagram

東京都倫理法人会
公式アカウント
ぜひ登録を!